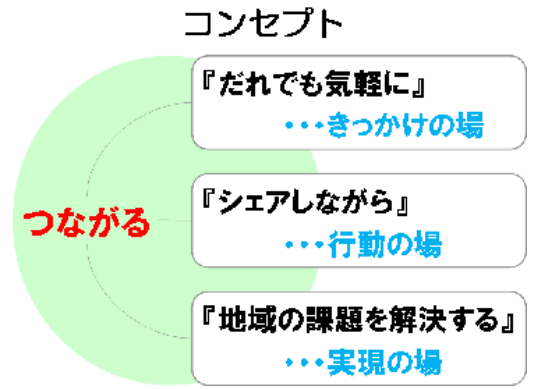




- 平成27年11月に予定されている新しい市民交流施設のオープンに向け、平成25年度には6回のワークショップを開催し、成果を共有してきました。
- 平成26年度は、いよいよ施設の実現に向け、「センターの使い方」(7月)、「センターが提供するサービス」(10月)、「オープンをどのように迎えるか」(2月)といったテーマを設定し、多様な方々に参加していただく中で、運営のより具体的な内容を話し合うワークショップを開催しています。
- 7月に開催したワークショップでは「新しい交流センターの使い方について考える」というテーマで、オープンスペースを利用する際にみんなが心地よく使うための大切なことを話し合いました。



## Step2「センターが提供するサービス」を考える

開催日:平成26年10月31日(金)  
会場:川東タウンセンターマロニエ 集会室202  
参加人数:49人(市民44人、スタッフ5人)

このワークショップでは、自分たちの活動における課題を解決するために、(仮称)市民活動交流センターでどのような事業を行ってほしいか、施設で実施していこうとしている機能ごとに話し合い、提案していただきました。



## 第1部 「(仮称)市民活動交流センター」の施設概要および機能説明

交流センターの6つの機能

- 拠点機能
- 相談・支援機能
- 協働支援機能
- 学習・体験機能
- 交流・コーディネート機能
- 情報の集約・発信機能

(仮称)市民活動交流センターの設置に向けた取組状況や、センターが行う6つの機能について市担当課から説明。

内容:

- ① 交流センターのコンセプトや6つの機能等について
- ② 現在、市民活動サポートセンター・女性プラザ・国際交流ラウンジの3施設において実施している事業のうち、新しいセンターで引き続き実施していく事業の方向性と6つの機能について
- ③ 平成25年に実施した100人ワークショップにのなかで挙げた「市民活動における課題と解決策」について
- ④ 平成26年7月22日のワークショップで話し合った《オープンスペースを使うために大切にしたいこと》について

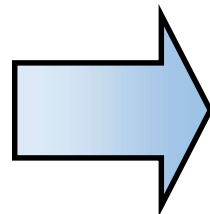


## 第2部 ワークショップ「センターで実施してほしい事業」

第2部ではワークショップを2回行った。まず個人で課題解決の事業を考え、次に8つの班ごとに、交流センターでどのような事業を実施してほしいかを具体的にまとめ、最終的に全体で共有した。なお、「拠点機能」については前回のワークショップのテーマであったため、今回はそれ以外の5つの機能に重点を置いて話し合った。

### ワークショップ①

- ステップ1(個人作業)**  
「市民活動における困り事とその解決策」  
配布された課題や解決のきっかけが記載されたシートを読み、それぞれの活動に当てはまる内容をチェックしてもらった。
- ステップ2(個人作業)**  
「交流センターで実施してほしい事業」  
チェックした内容を基に、課題を解決するために、交流センターで実施してほしい事業を付箋に書き出した。(写真①)
- ステップ3(班作業)**  
「考えた事業を班内で共有」  
各自書き出した付箋を、それぞれの思いを説明しながら模造紙に貼りだし、意見を共有し、それぞれ「5つの機能」に分類した。(写真②)



休憩中、他班の模造紙を見てもらう。(写真③)

### ワークショップ②

- 「交流センターに実施してほしい事業」具体案作成
- ステップ1(個人作業)**  
追加のアイデアがあれば書き出し、分類の仕方も再度見直した。
- ステップ2(班作業)**  
分類された付箋を基に班内で意見を統一し、要望や事業案として具体的にまとめた。
- ステップ3(班作業)**  
話し合った「事業」を「希望の事業シート」に記載した。

各班が話し合った結果を模造紙や「希望の事業シート」を使って発表し、全体で本日の成果を共有した。(写真④)  
発表後、5つの機能ごとに各班から出された「希望の事業シート」を貼り出し、発表された意見を参加者が共有した。(写真⑤)



# 希望の事業シート(要約)

各班が作成した「希望の事業シート」を5つの機能ごとにまとめさせていただきました。

相談・支援機能	協働支援機能	学習・体験機能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな相談や講座のために専門家を呼ぶ</li> <li>・コーディネーター・アドバイザーを養成する講座</li> <li>・相談しやすい(声をかけやすい)雰囲気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“つなぐ”事業…行政・各団体・企業・自治会・大学などと、交流・マッチング。それぞれに適した協働を。</li> <li>・基金制度(企業、ロータリークラブやライオンズクラブなどからの資金を調達する)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体をうまく運営するための講座</li> <li>・スキルアップ講座</li> <li>・各団体主催による講座</li> <li>・「おだ活」「おだわら」を知るための体験</li> </ul>
交流・コーディネート機能	情報の集約・発信機能	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ分野やテーマごとの団体間交流や、企業などとの交流会。</li> <li>・センターで実施したい企画のコーディネート、サポート。</li> <li>・ワンコインカフェ、カルマキッチンカフェ、ブックカフェ、街コンなど、さまざまな人が気軽に交流できる事業。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に必要なことが得られる情報の発信、活動周知に役立つ市民活動団体のデータベース(検索しやすい形)の構築、SNSなどインターネットツールの充実。</li> <li>・サポセン祭りのような事業や、通りから見える作品展示などで、一般の人を引き込む。</li> <li>・団体が書き込める「困ったこと掲示板」</li> <li>・情報は冊子とホームページの2本立てがよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい発想で、多くの人を訪れる交流センター</li> <li>・おだわら井の食べ歩き講座(施設主催)</li> </ul>



## ○交流センターで実施してほしい事業

なお、個人作業では参加者の皆さんからたくさんの付箋を書き出していただきました。その中からいくつかのご意見を抜粋して紹介します。

相談・支援機能	協働支援機能	学習・体験機能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルプデスク機能</li> <li>・専門知識のある人がいる</li> <li>・資金調達の相談</li> <li>・活動の悩み困っていることの相談役</li> <li>・市民活動アドバイザー、コーディネーター</li> <li>・市民活動のためのスキル充実化(専門機関の応援)</li> <li>・慣れない人が訪ねてもやさしく受け入れてくれる施設であってほしい</li> <li>・会の魅力がアップする相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業から協賛金！支援金！</li> <li>・行政との協働を図るアドバイス</li> <li>・同じ分野で何か一緒にできる仕組み</li> <li>・高齢化に伴う共助</li> <li>・CSR 集会(企業と市民の集い)</li> <li>・大学生と市民活動団体とのフェスティバル</li> <li>・活動のプレゼン大会(賛同してくれる人を集めたい)</li> <li>・福祉作業所物品販売</li> <li>・小田原の魚屋さんを守る事業⇒住む人増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「稼ぐ」市民活動講座</li> <li>・ひきこもり・不登校の若者支援とコラボして社会体験事業</li> <li>・大人のための職業体験</li> <li>・オチコボレの市民ボランティアによる補習システム構築</li> <li>・団体の運営方法を教えてほしい(講座)</li> <li>・チラシ(回覧板)デザイン講座</li> <li>・インターネット活用講座</li> </ul>
交流・コーディネート機能	情報の集約・発信機能	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマごとに人が集まれるような交流イベント</li> <li>・市民活動にかかわっていない人の取り込み</li> <li>・若者とシニアの交流、小田原の文化の伝承</li> <li>・大学・高校生に知ってもらう</li> <li>・展示スペース利用時に助言してくれる</li> <li>・観光客と町の人が交流できるイベント</li> <li>・市民が孤独にならないよう憩いのスペース確保</li> <li>・食文化の交流会</li> <li>・同じ悩み交流会</li> <li>・企業や自治会などと連携の取れる交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録団体回覧板</li> <li>・“やりがい”の発信</li> <li>・企業がやろうとしている社会貢献の内容をリストアップして発信</li> <li>・情報誌(魅力的)</li> <li>・ジャンル別に統一されたHP、冊子</li> <li>・交流会を企画・実施する事業</li> <li>・ボランティア活動の募集などの情報</li> <li>・サポセン祭りのように外に向かって発信できるイベントを年に2,3回企画してほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の施設と同じ予約システム</li> <li>・簡単な飲食販売(自販機など)サービス</li> <li>・ミニ図書館的なものを作っていただき、そこで休みながら本を読む場所</li> <li>・託児</li> <li>・〇〇基金箱の設置</li> <li>・誰でも自由に利用できる施設がほしい</li> </ul>

## ワークショップアンケートまとめ(回答:37人、回収率75.5%)

Q1. 本日のワークショップをどのように知りましたか。(複数回答あり)

・送付したチラシ:9人 ・公共施設にあったチラシ:4人 ・市の広報誌:3人 ・市のホームページ:1人 ・知り合いからの紹介:10人 ・その他:11人

Q2. 本日のワークショップにご参加いただいた理由を教えてください。(複数回答あり)

・新しいセンターに興味があった:17人 ・内容に魅力を感じた:5人 ・自分(団体)にとって良い経験になる:16人 ・知り合いに誘われた:6人  
・その他:3人(所属団体で自分の分担業務に関連している、ハルネのPRと思った など)

Q3. 第1部の新しいセンターの概要説明はいかがでしたか。(複数回答あり)

・良かった:27名 (理由:新しいセンターの内容や機能が理解できた、これまで知らなかった目指す方向や現在の活動状況が理解できた  
親しみやすいファシリテーション、使用の具体的なイメージが浮かんだ、説明された資料が配布してほしい など)  
・悪かった:2名 (理由:もう少しメリハリのある説明だとよかった、説明が良く理解できない、時間が足りない)  
・未記入:8名 (理由:もっと利用の仕方や運営についての情報が知りたい)

Q4. 今後、新しいセンターについて知りたいのはどんなことですか。(複数回答あり)

・団体の登録制度:9人 ・予約や使用の方法:14人 ・使える備品:11人 ・団体の情報発信の方法:14人 ・行われる事業:16人  
・相談できること:11人 ・運営スタッフのこと:13人 ・会議室等の料金:12人 ・その他:1人(施設の内容の詳細) ・未記入:5人

Q5. 第2部のグループワークはいかがでしたか。

・良かった:34人 (理由:さまざまな人の意見が聞けて勉強になった、活発な意見交換ができた、個人の意見からグループ共有までの過程が楽しめた など)

Q6. 本日のワークショップについて、ご意見や感想を自由にご記入ください。(抜粋)

・時間が短かったのが残念。 ・目指すところは時により変化するので、こういった討論は繰り返し行ったほうが良い。  
・色々な立場の人と話せて勉強になった。世代交流や、いろいろな団体の思いを知ることができた。 ・テーマが多角的で具体的な捕らえ方が難しかった。  
・ワークショップでの意見がどの程度反映されるのか、どうやって出された事業案を進めていくのかを示してほしい。 ・またやりたいですね。  
・参加した人たちが何らかの形で関わっていただけるといい。 ・雇用にもつなげられる事業や、市内外、県外から人を呼べる企画を。 など

## ワークショップStep2 ~ふりかえり~

・日ごろの活動で実際に課題と感じていることを振り返っていただき、その解決のためにどんな事業が必要とされるのかについて、さまざまな視点による意見が活発に出ていました。残念ながら紙面の都合ですべてのご意見を紹介できませんでした。  
・今回の提案の中には、今後、新しいセンターを利用してくださる皆様と一緒に作り上げていけそうな事業案も多くありました。「この事業ならやってみよう」という方にはぜひ手を挙げていただき、企画の段階から参加して下さると、より良い事業に育っていくと感じました  
・なお、11月9日(日)に開催された「第10回サポセン祭り」において、(仮称)市民活動交流センターの情報とともに、皆様から出していただいた「希望の事業シート」を展示発表し、多くの人にご覧いただくことができました。ご協力ありがとうございました。

## 次回のワークショップは平成27年2月に開催する予定です!!

平成27年11月、これまでのワークショップで皆さんと考えてきたことを実現していくセンターが、いよいよオープンします。

「実現に向けて運営を考えるワークショップ」の最終回となる第3回目は、「オープンをどのように迎えるか」をテーマに、オープンへの期待、またオープンしてからも、皆さんの力でどんどん発展していく可能性を実感できるワークショップを開催できればと考えています。

